

iPhoneでの表示の例

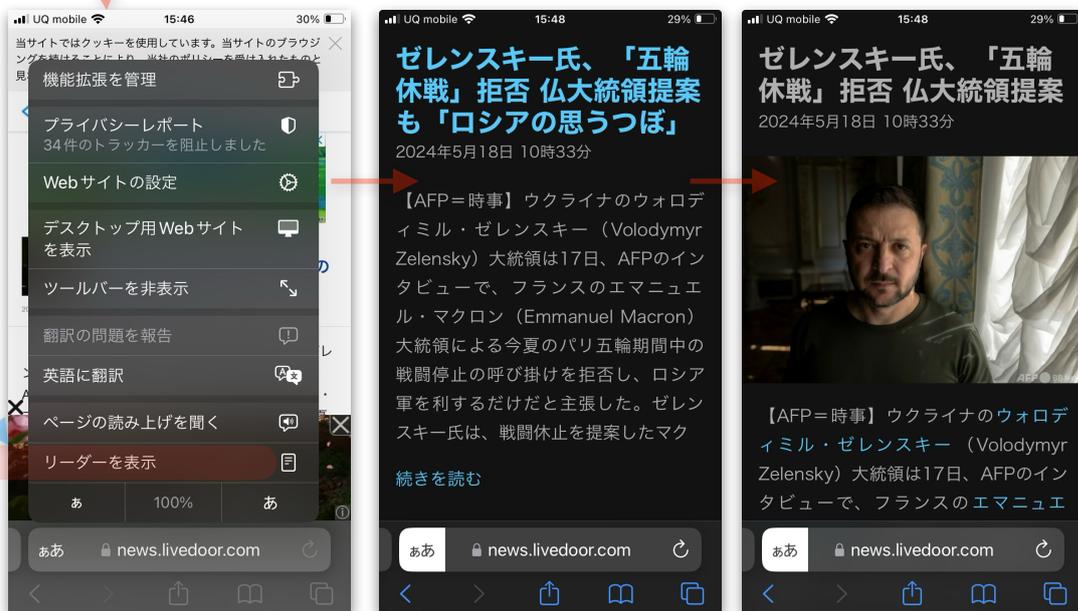


Safariのブラウザで見た場合。小さい文字で広告が永遠に続きます。

リーダー表示が利用できるのブラウザは、AppleのiPhone及びMacのSafariです。WindowsではSafariがサポートされていないため、リーダー表示はすることができません。ChromeやEdgeはリーダー表示の機能を持っていません。

リーダー表示に切り替えるため[ああ](#) タップします。

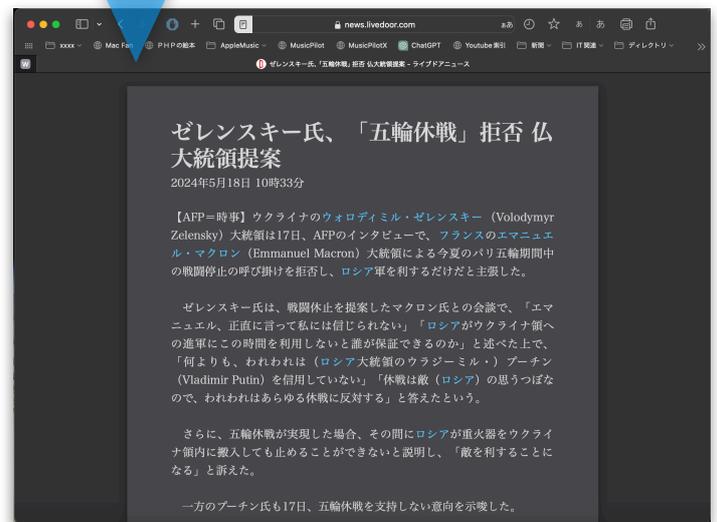
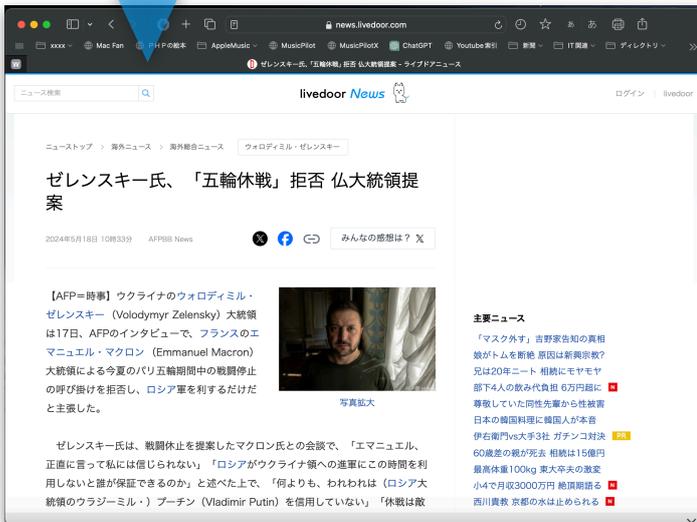
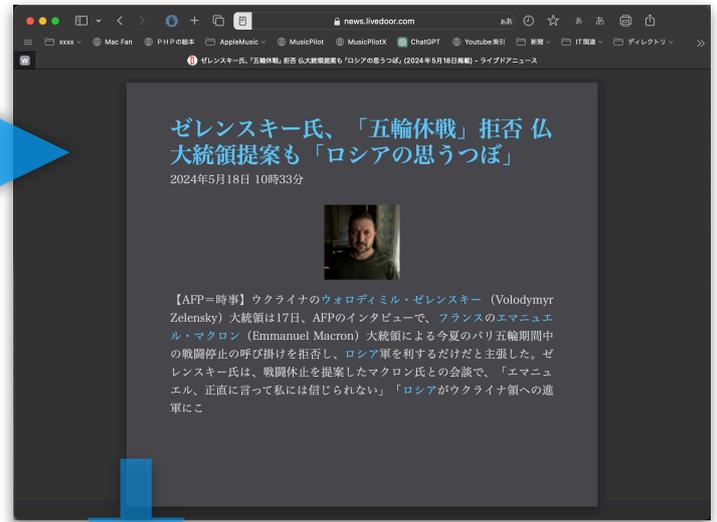
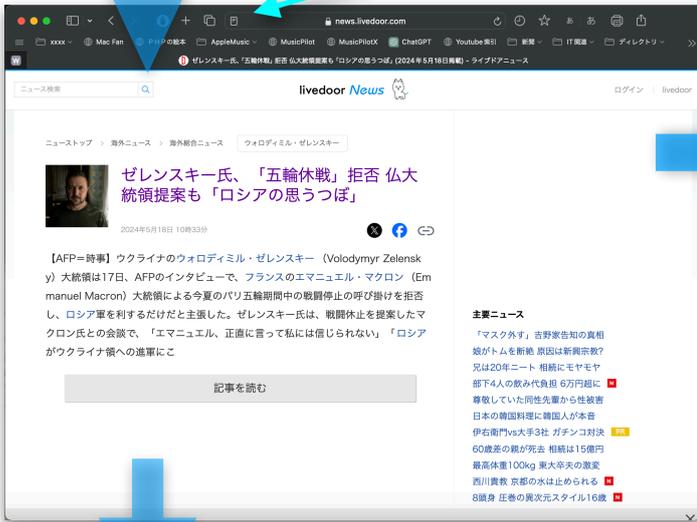
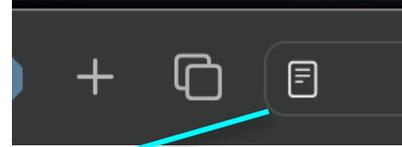
リーダーを表示をタップします。



リーダー表示では 比較的大きな文字で広告は表示されません。コンテンツによっては、リーダー表示ができない場合があります。

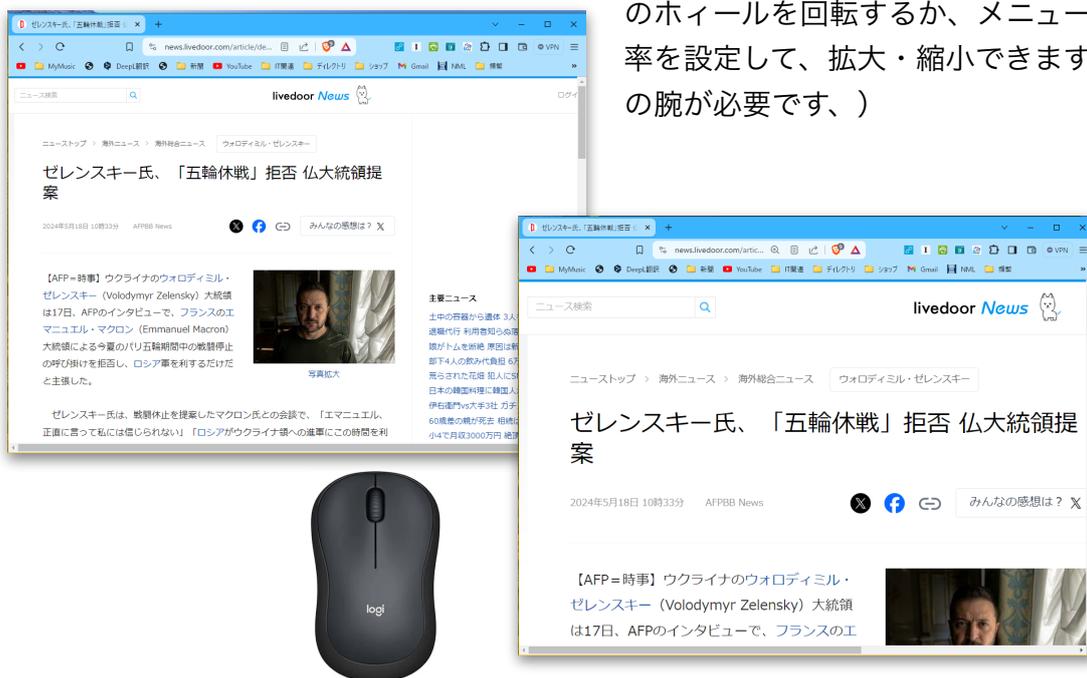
パソコン(Mac)での表示の例

リーダー表示のアイコンをタップすると、広告等が一切省かれ、大きな文字で表示されます。そのため、記事に集中でき、内容の理解も比較的楽にできます。

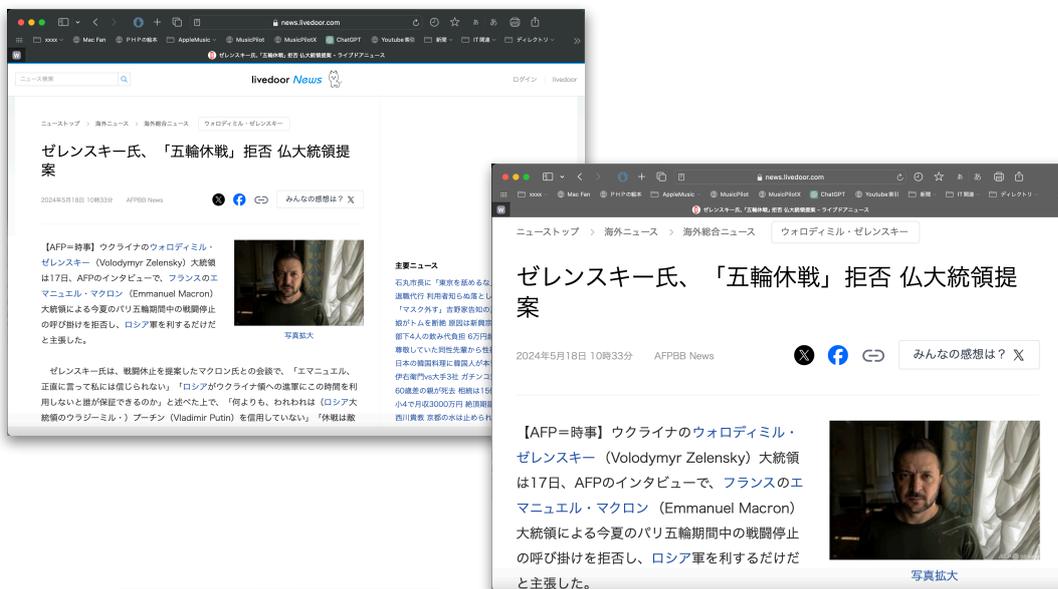


PCでの画面の拡大縮小のやり方

Windows は、Ctrlキーを押しながらマウスのホイールを回転するか、メニューから拡大率を設定して、拡大・縮小できます。（2本の腕が必要です、）



文字を大きくすると、目の負担が軽くなり、効率も上がります。



Mac は、拡大したい部分にカーソルを置き、2本の指でマウスの上面を二回トントンとタップすれば、指定した部分が画面全体に拡大されたり、元の表示サイズに戻ったりで、簡単です。



Windows10も使いますが、最近は
もっぱら iMac を使っています。

昨年購入した24インチ・ディスプレイのついたiMac
パソコン本体はディスプレイの中に収められている。



2017年に購入した13インチMacBook Proのノートパソコン